

Half-Earthed Elementary School

半分だけ地球に還せば、廃校寸前の小学校はワイルドな「学び舎」として息を吹き返す。



廃校はおもしろくない

今通っている小学校がなくなる。愛着ある母校がなくなる。コミュニティの核がなくなる。そこに小学校があることが非効率だと言われるのは、地域にとってこの上なくおもしろくない。でも実際に、毎年全国で 200 ～ 300 もの小学校がそんな憂き目に遭っている。



「地球の事情」で学校を存続させる

人間だけの事情でつじつま合わせをすると、その小学校は廃校になる。でも地球全体の事情からじっくり再考すると、小学校は新たな価値を付加した形で存続できる。手法は、学校の空きスペースを地球に還すこと。植物や動物とともに生きる場所をつくり、そこを多世代が交流する「学び舎」として運営する。



1つの校舎からつくる2つの「山」

校舎を減築しながら全体を緑で覆うと、それ自体が1つの「山」になる。もう1つの「山」は、校庭につくられる築山。この中には減築で撤去された廃材が埋まっている。屋上緑化のための減築を行うのであれば、学校周辺の他の建物の廃材もここで受け入れる。2つの「山」は人間にとって快適な環境をつくると同時に、地域に生物多様性をもたらす。



地域に生きつつ、地球に生きる

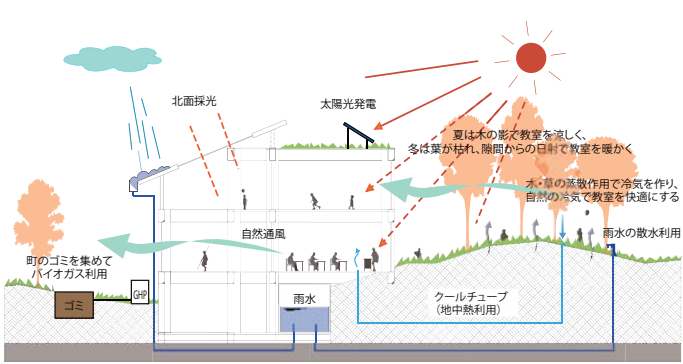
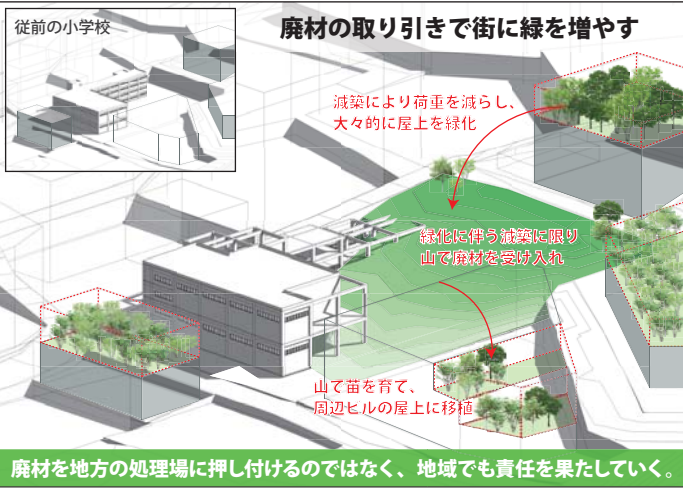
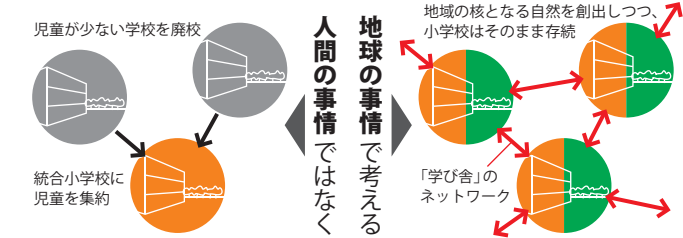
週末や長期休暇に海や山へ出かけて自然に触れるのは、もちろん有意義なこと。でももっと重要なのは、日常の身近な生活圏で「地球に生きる」と意識する機会を増やすこと。小学校はどの地域にもあるコミュニティの核。ここに「学び舎」をつくるのは理にかなっている。散歩がてらぶらりとそこに行けば、いつでも地球に触れることができる。



個性的なクラスメートたち

同級生の数が少なくなくても、「学び舎」にはアクの強いクラスメートがたくさんいる。共生のパートナーとしての動物や植物、またその世話をする大人たち。今よりはるかに地球に近い暮らし方をしていた世代の知恵は、現代っ子にとってはかなり刺激的。ここでの日々を通して、地球に生きる上でのセンスが磨かれる。

はばだけ未来の地球エリートたち。ここから巣立っていく子どもたちが、地球と人間をより良い方向に変えていくかも。



「学び舎」の4つのテーマ

- 地域コミュニティの形成
- 生態系のネットワークづくり
- 循環型ライフスタイルの創造
- 地球人の育成

10月の校内遠足

暑さも少しすつやわらぎ、食欲の秋がやってきました。
今月の校内遠足は「**たべものを手に入れろ！ サバイバルランチ**」と題し、校内になっているたべものをみんなで食べつくします。
※注意 お弁当は持っていないでください。
(予告) 11月の校内遠足「**学校の本をひやどう ドングリひろい**」

森の運動会 プログラム

9:00	ヤギ先生による開会宣言
9:30	ウォームアップ山あるき
10:00	落ち葉の中の宝さがし (2年生)
10:30	木登り&山転がりレース (5年生)
11:00	森からの借り物競争 (地域のみなさん)

地球を知る

日々の生活で、どれくらい食べて、どれくらいゴミを出して、どれくらいエネルギーを使っているんだろう？
地球から受けた恩恵、地球にかけている負荷。まずは知ることが学びのはじまり。
知れば知るほどわからないことが増え、疑問が増えるにつれ意識が高まっていく。そして最後には、行動あるのみ。

たべものを育てる

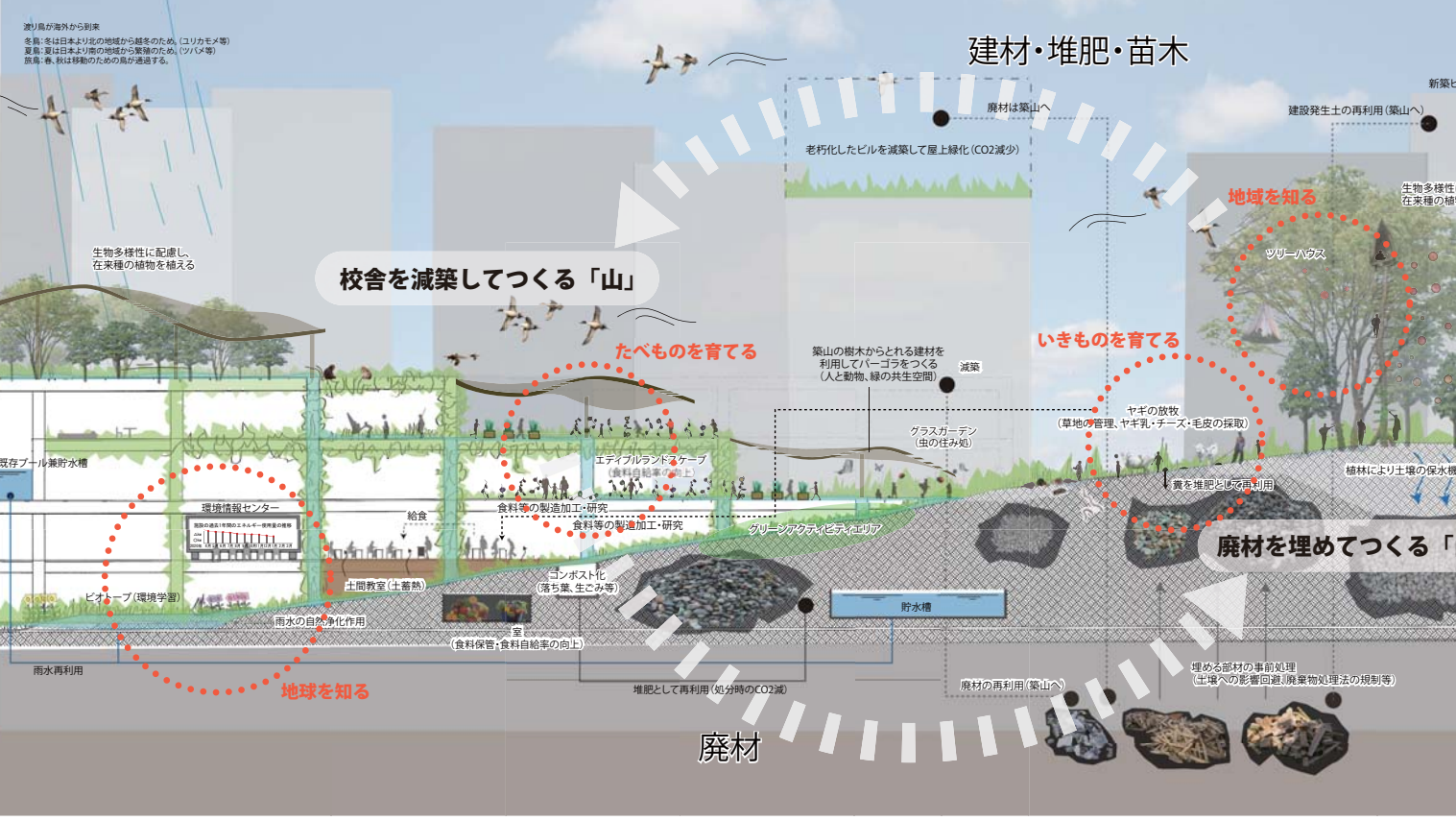
菜園や田んぼでたべものを育てる。地域の気候や土の特性に合ったたべものを育てることは、地域特有の生態系をまもることもつながっていく。
ミツバチが受粉を助けてくれるように、生き物たちが作物作りを助けてもくれる。自分の手で育て、収穫したものを口にするとき、「いただきます」の本当の意味を実感できる。

いきものを育てる

ヤギは毎日黙々と草を食べ、子どもたちが遊びやすいように原っぱを整えてくれる。ヤギのミルクはおいしいチーズになり、みんなでつくるケーキの材料になる。ヤギのうんちを堆肥にして菜園に使えば、野菜はおいしく大きく育つ。様々な恵みをもたらしながら、身をもって地球の循環を教えてくれる。ありがとうヤギ先生！

地域を知る

地域で暮らす人の誰もが「学び舎」の生徒であり、時には先生にもなる。地域に根ざした生活の知恵、とりわけ地球と人間のより良い関係を築くための知恵。その共有の場をつくることで人と人とがつながり、地域独自のエコ・コミュニティができる。今日も山の上のツリーハウスで、名物先生が熱く語る。「地球も人間を必要としてるんだ」



四季のうつろいとともに様々な表情をみせる、新たな「学び舎」